

橿原市入札監視委員会議事概要書

開催日及び場所	令和6年度 第33回委員会 令和6年8月30日（金） 書面開催	
出席者	委員 江南 政治 委員 村井 証文 委員 山本 勝昭 事務局 財務部長、財務部副部長、契約検査課長、 検査技監、契約検査課長補佐3名、 ※役員の改選により、委員長は江南委員と決した。	
審議対象期間	令和5年10月1日～令和6年3月31日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 期間内入札等件数 総件数 113件
一般競争入札	0件	一般競争入札 0件
事後審査型条件付き 一般競争入札	0件	事後審査型条件付き一般競争入札 38件
指名競争入札	0件	指名競争入札 0件
総合評価方式	1件	総合評価方式 1件
プロポーザル方式	1件	プロポーザル方式 3件
随意契約	4件	随意契約 35件
条件付き一般競争入札	0件	条件付き一般競争入札 20件
設計施工方式	0件	設計施工方式 0件
条件付き一般競争入札 (事後審査あり)	2件	条件付き一般競争入札 (事後審査あり) 16件
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	
委員会による意見具申 又は勧告の内容	特になし	

【別紙】

委員からの意見・質問	市の回答
1. <役員の改選について>	
事務局案を承認。異議なし	役員改選により江南委員長、村井副委員長、山本指定委員とする事務局案を上程した。
2. <入札及び随意契約の執行状況について>	
特になし	
3. <抽出案件の参加資格設定及び業者の指名・選定理由について>	
抽出事案2〔樞原市本庁舎整備事業化検討及び基本計画策定業務委託〕について	
<p>プロポーザル方式で、必ず落札できるわけではないとはいえ、やはり1者しか参加していないことについては、競争性に疑問を感じる。この点、さらに参加者を増やすような努力はなかったのか。</p>	<p>当該プロポーザルの参加資格として、業務の核となる①民間活力導入可能性調査と②庁舎建設に係る基本計画策定業務について両方の実績を有することを参加資格として求めましたが、①と②それぞれについて、異なる場所での別々の単独受注案件であった場合にも実績として認めることとし、参加可能性を広げられるよう資格要件を設定し、出来る限り多くの事業者の参加を期待していましたが、結果として1者のみとなりました。</p>
抽出事案3〔市単独農道舗装工事（田中町）〕について	
<p>選定理由について、経費削減が挙げられているが、入札率100%となっていることから、どの点が経費削減につながっているのか。</p>	<p>当該舗装工事を農道整備工事の一連工事とすることで、舗装工事に必要となる施工機械や建設車両等を引き続き利用できるため、新たな施工機械の運搬等が不要となり、早期の工事着手や施工作業の効率向上し、経費削減や施工期間の短縮につながるものと判断しました。</p>
抽出事案5〔令和5年度物価高騰対応重点支援給付金事業運営委託業務〕について	
<p>①随意契約で契約締結されているところ、金額について他の事業と同等の金額であるから妥当としているが、同じような業務を何度も行っているのであれば、もう少し金額を下げることはできなかったのか。金額が大きいだけに再度検討すべきかと思われる。</p>	<p>事業内容は、大半が運営スタッフの人件費と、給付金申請に係る封筒や申請書面などの物品および郵送費です。業務単価について、人件費・物価高騰の影響がある中、価格交渉の上、過去の実績から上昇せずに据え置きとしたことから妥当と判断しました。 また、前回と同等・同種の業務を行うことから、業務実施体制の構築や運営マニュアルの作成・給付対象者に郵送する書面の作成について、必要最小限の期間・人員で行うこととし、委託業務価格の削減の交渉を行った上で適正と判断しました。</p>
抽出事案7〔令和6年度子ども園および学校給食関係者等の検便検査業務〕について	
<p>落札率が35.48%と低いですが、設計金額に問題はなかったのか。この落札率の低さで、品質は確保できるのか。</p>	<p>設計金額の積算については、新規事業者の参入を見込んだ新規のプログラム作成を含むものとして積算したが、結果落札金額との乖離が生じました。落札率が低いものの当該契約者、他の応札者とも本市の他課での受注実績があり適正な業務の遂行に支障はないと考えています。</p>

委員からの意見・質問	市の回答
3. <建設工事種別の発注統計について>	
特になし	
4. <工事成績について>	
特になし	
5. <入札参加資格停止措置の運用状況について>	
特になし	
<その他事項について>	
特になし	
<次回の開催について>	
次回の当委員会は、令和7年2月に開催予定。	